

【 2015 年度 事業報告 】

特定非営利活動法人ニランジャナセワサンガ

インド①▶学校教育

■事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体トラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給、給食配給（週2日）をすべて無料で実施。

2003年よりブッダガヤ周辺の17の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに10年間、年間約750名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒンドゥー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざま宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

■2015年度の成果：

- ・『がっこう基金』の助成により、必要な教科書文具類・制服（再貧困層のみ）などの必需品を子どもたちに提供することができた。
- ・2回目となる卒業式を実施し、在校生並びに卒業生の進路相談に力を入れた。
- ・毎日学校に来ることを奨励し、欠席する子どもたちの経済的事情などを調査した。
- ・「私たちの学校」という意識啓発のため、学校や教室の掃除運動を強化した。
- ・運営自立を目標に、入学金の保護者への経済的協力を求めた。
- ・家庭訪問を強化し、学校に来ることができない子どもたちのケアを重点的に実施。
- ・朝の挨拶運動の実施。
- ・英語教育の強化。
- ・NPO 団体チームピースチャレンジャーの支援により給食の提供を実施。

教科：英語、数学、ヒンディー語、サンスクリット語、科学、一般環境学、社会、
 クラス：ナーサリー・プレナーサリー・LKG・クラス1ー7
 シニアクラス（クラス8ー10 中学校2~3年生・高校1年生）（本校のみ）
 コンピュータークラス（本校生徒並びに地域の15歳以上の若者が対象）

現在、生徒数は約750名。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費 1,500,000円（2015年度当法人支援額）
主要財源	指定寄付（個人・団体） 『がっこう基金』 ・ チームピースチャレンジャー（給食費支援）

インド②▶孤児院（ドミトリー）

■事業の概要

2006年より始まったこのプロジェクトは、親が不在、養育が困難などの理由により、家庭での養育が不可能である男児を保護し、孤児院（ドミトリー）で生活支援を行っている。勉強、日常生活、リクリエーションのバランスのとれた日常を提供し社会に必要な知識と経験を身に付けることにより、孤児院卒業後、すみやかに自立できるよう支援を行っている。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費 800,000円（2015年度当法人支援額）
主要財源	指定寄付（個人・団体） チームピースチャレンジャー（孤児卒業生支援）

■2015年度の成果：

- ・クラス10を卒業した2名の孤児が、孤児院を卒業した。
- ・2015年3月より孤児院卒業生を対象にした奨学金制度を導入し、10名の卒業生を支援することにより大学の学費や生活費の一部をまなかうことができた。

（※NPO団体チームピースチャレンジャー 協力）

インド③▶スジャータ・アシュラム（女性センター）

■事業の概要

女性の地位の向上に向け、女性が技術を身につけ経済的な収入を得ることで、自信や誇りを持って生きていけるようにと始まったプロジェクト。2011年にスジャータ・アシュラムが完成。活動期間は4年半。裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。収入の糧となる技術を習得し、将来的には技術を活かした生産を行い、その収入で家庭や子どもたちの基本的な生活のニーズ（衣食住）を満たすことができるようになることがこのプロジェクトの最終的な目標である。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費 1,500,000円 (内1,000,000円 二階建設費)
主要財源	ASIAN PUJA、チーム ピース チャレンジャー 指定寄付(個人)他

■2015年度の成果：

・ニランジャンスクールニランジャンスクールの制服をつくることができるようにと、制服プロジェクトに取り組み、日本の専門家による技術指導の結果、日本のクオリティに匹敵するシャツとスカートの製作技術を伝授した。

・裁縫教室を修了した女性たち約40名が、より高い技術を身に付けるため年に数回(約10日間前後)のプロの講師によるトレーニングを実施。

・技術指導と生産の場を分け、より効果的な指導と生産を行うため、アシュラムの2階の増設に取り組み、外装を完成させた。

(寄付・実施：NPO チームピースチャレンジャー)

・技術のある女性たちに、商品生産の発注を行うことによって仕事・収入と技術習得の機会を提供している。

(nimai-nitai. NPO チームピースチャレンジャー・)

インド④▶診療所

■事業の概要

スジャータ村周辺の村びとたちの健康促進のため、週2回、医師がボランティアで、ホメオパシー療法にて病気の治療を行い、病気や栄養失調の予防のための知識を提供している。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費 500,000円 (2015年度当法人支援額)
主要財源	一般寄付他

■2015年度の実績と成果

<活動実績>

医師2名、看護師2名、処方箋スタッフ2名、受付2名の計8名が、週2日(2015年度より2回に変更)、火・金曜日に診療所内で定期的な無料相談・診療を行う。診療所周辺の村に住む乳児から高齢者まで、幅広い年齢の住民が利用。累計約10,000名以上の患者が来院した。

<成果>

- ・皮膚の表面や内部にできる腫瘍患者を多く治癒した。
- ・栄養失調の患者(特に貧血の女性が多い)の栄養指導ができた。
- ・今まで病院に行けなかった村人が診療できる様になったことで、村周辺の死亡率軽減に繋がった。
- ・ホメオパシー療法という天然の処方箋には副作用がなく、西洋医学の処方箋よりも効果的に治療することができた。

インド⑤▶植林・有機農業

■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー（森をつくる農業）のモデルケースとなることを目的としたプロジェクト。開始から4年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑は、収穫がいったん2016年1月で終了し、よりよい耕作のため、2016年4月に向けて土作りと再耕作を計画した。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費	1,230,000円
主要財源	東洋ゴムグループ、ピースロード鎌倉	

■2015年度の実績と成果

- ・マンゴーとグアバの木々が実をつけ始めており、さらに実をつける大きな木に成長させるための手入れを入念に行った。その他の木々も順調に成長している。
- ・植林・有機農業の混合実践を行うことにより、有機物の有効利用に工夫をこらした。ミミズを投入したコンポスト堆肥づくりに関しては、ミミズが脱走し上手くいかないこともあった。堆肥作りは今後の課題となっている。
- ・泥棒や家畜の侵入を防ぐため、レンガ塀の追加建設を行った。

日本▶国内事業

▶広報

■事業の概要

既存の支援者、潜在的支援者へアプローチするため、ウェブサイト、SNSの運用、チラシ等を作成し、現地の様子を伝えること、ニランジャナセワサンガの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動。今期最終日3月31日には読売テレビ報道番組「ten」にてインド支援先NGOが取り上げられ、発展するインドの中でビハール州の実情、貧困家庭の子供達に教育支援をしているニランジャナスクール、女性自立支援センターアシュラムの様子、又関西大学初等科の子供達とスクールの子供達との交流の様態などが放映されました。2014年5月のテレビ放映に続いてメディアに取り上げられることにより認知度は上がって来ている。

■事業運営体制

主要財源	一般寄付（個人・団体）他
------	--------------

■2015年度の実績と成果

<実績と成果>

(1) 対象者：潜在支援者

①ウェブサイト

団体の活動内容などがより伝わりやすいものになるよう、2015年3月のスタツア参加者のひとりが、帰国後、精力的に協力してくれ、リニューアルオープンをする事ができた。

②ソーシャルメディアの活用（2015年3月31日現在）

Facebook ページ いいね！ 583件

③読売テレビの方の情報番組「ten」にて取り上げられる。放送直後から、スタディツアーへの参加問合せ、個人及び他団体からの合せ等が複数あった。

➤ 支援者サービス

■事業の概要

年に1回、支援者及び協力者へ、ニュースレターや子ども達の手作りカードを発送。サポーターがインド支援に関わることを通して、現地の状況を知ってもらうことは勿論、子ども達との交流を楽しんでもらうことを目的とするサービス。

■事業運営体制

運営体制	支援者サービス担当1名
主要財源	一般寄付（個人・団体）他

■2015年度の実績と成果

<実績と成果>

(1) サポーターへのニュースレター「Niranjana Letter」発行

発行日 2015年5月9日

もくじ

- 「第8回かめのり賞」を受賞！
- 変化し続けるニランジャンナスクール
- ある姉妹の家庭訪問
- 迎えてくれる人がいる幸せ
- ついに、マンゴーが実りました！／女性たち発案のぬいぐるみ生産
- スタディプログラム 2015 春 参加者の感想&レポート

(2) 現地からのクリスマスカード発送

2015年秋現地の児童が支援者に対しクリスマスカードを約300枚作成し、支援者のもとに届けた。

(3) 会員数（2015年度=2016年3月現在）

- ①3,000円プロジェクト 116口（2013年度 77口、2014年度 120口）
- ②ニランジャンナ支援プロジェクト 37口（2013年度 60口、2014年度 65口）
- ③学費サポートプロジェクト 89口（2013年度 79口、2014年度 84口）
- ④孤児の里親プロジェクト 37口（2013年度 45口、2014年度 44口）

▶スタディツアー事業

■事業の概要

インド・ビハール州ニランジャンスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費	717,010円
主要財源	ツアー参加費	

■2015年度の実績と成果

(1) 夏のスタディープログラム

<実績と成果>

2015年8月25日～9月9日実施

参加者： 6名 従事者：引率者1名、コーディネーター1名

ニランジャンスクール、アシュラム、ニーナ分校、ゴンガリア分校での現地研修、又個々のプロジェクトについてはミーティングを重ね実施した。スクールでの授業についてはごみ問題、トイレ掃除の必要性を伝える授業を実施した。特にトイレ掃除はまずスタツアメンバーが実施し、その後子供達にも体験させるという方式で行った。又現地の学生とのディスカッションの実施、アシュラムの女性達への化粧講座等も行った。お互いの考え方や置かれている状況の理解を深める事が出来たと思われた。今後に繋げるという意味でドミトリーメンバーのインタビューを実施し動画に残した。これは帰国後の里親獲得に利用できないかという趣旨で行われた。

<課題>

参加者の内、体調を崩し発熱し現地病院に行く事態までなったが現地の衛生状況を少しでも日本に近づける必要があると同時にツアーの危機管理を充実させ、今後はマニュアルの作成やスタッフへの引率に関する教育を実施する必要がある。

<プロジェクト報告会>

【日 時】 2015年11月 13日(金)

【場 所】 大阪市西区西大橋プラディーバ1階 西大橋分室

【出席者数】 会員 9名

(2) 春のスタディープログラム

<実績と成果>

2015年3月9日～3月22日実施

参加者： 4名 従事者：引率者 1名、コーディネーター1名

今回はプロジェクトに日本語教育という内容を入れ自らで新たなプロジェクトをつくり実施するという作業を省略し、代わって貧困、ジェンダー問題、その他様々な問題について自ら考え討論する機会をつくった。

ツアーを通じて、国際協力に興味を持つ参加者も現れた。

<課題>

定員を下回った為採算われとなったが支援者を増やし共鳴してもらうためには一番いい機会という事で今回は実施した。今後は周知方法やツアー内容、価格等を見直し時流にあった実施方法を検討したい。

➤ イベント事業・講演会

■事業の概要

様々なイベントへの実行委員への参加及びブース出店を通し、普段は活動に参加していない多くの人を巻き込むことを目的とした事業部。売り上げが収益に繋がるだけでなく、団体のPRにも繋がることから、今後、さらに力を入れて人員を増やす必要がある。

■事業運営体制

予算規模	年間事業費	250,831 円(事業収入 ASIANPUJA 除く)
主要財源	一般寄付(個人・団体) 他	

■2015 年度の実績と成果

<実績と成果>

2015 年度は、下記イベントに取り組んだ。NPO 法人の活動についてイベント参加者に広報する機会となった。

- ・2015 年 5 月 地球愛祭り in 京都
- ・2015 年 8 月 他団体イベント視察
- ・2015 年 9 月 「ASIAN PUJA in 高津宮 2015」実行委員参加及び出店参加
- ・2016 年 2 月 6 日(土) 7 日(日) 「One World Festival 2015」出店参加
- ・毎月第 3 火曜日 Shama から世界へ(ニランジャナ関係団体や関心のある人が集まって交流)

<課題>

当日ボランティアが多く必要なイベントもあるため、ボランティアへの呼びかけ体制を構築し、事前計画をより入念に立てて実施する必要がある。

■講演会

明治大学中野キャンパスにて、「ソリューションアプローチ」と題して、国際協力人材プログラムの一環として、NPWT のシッダールタ氏、インドよりディベンドラ氏が講演し、学生たちに国際協力について学ぶ機会を提供

日時：2015 年 8 月 3 日

担当教員：岸 磨貴子 教授

➤ 研修・セミナーへの参加

①関西NGO協議会主催「ファンドレイジングの方法と実践研修」

【日 時】 2016年1月14日(木) 15日(金) 2月25日(木) 26日(金)

【場 所】 大阪市北区茶屋町 梅田アプローズタワー

【出席者数】 理事 1名 スタッフ1名

②かんさいCSネットワークフォーラム

【日 時】 2016年2月12日(金)

【場 所】 大阪市北区梅田 大阪市立大学文化交流センターホール

【出席者数】 スタッフ1名

➤ 総会の開催状況

第5回 2015年通常総会

【日 時】 2015年5月16日

19:00から20:20まで

【場 所】 大阪市西区北堀江1-3-7 倉商ビルB1階インドレストラン Shama

【出席者数】 全正会員数 34名

うち 出席者数 27名(うち委任状出席 14名)

【議案】

第1号議案 2014年度事業報告書承認の件

第2号議案 2014年度活動計算書承認の件

第3号議案 監査報告書承認の件

第4号議案 2014年度事業計画書承認の件

第5号議案 2015年度活動予算書承認の件

第6号議案 2015年度役員選任の件

第3回 臨時総会

【日 時】 2015年11月7日

15:00-17:00

【場 所】 大阪市西区北堀江1-3-7 倉商ビルB1階インドレストラン Shama

【出席者数】 全正会員数 34名 うち 出席者数 26名(うち委任状出席 14名)

【議案】

第1号議案 監事選任の件

第2号議案 その他

